



低炭素ライフスタイル構築に向けた診断促進事業

平成28年度予算（案）
260百万円（110百万円）

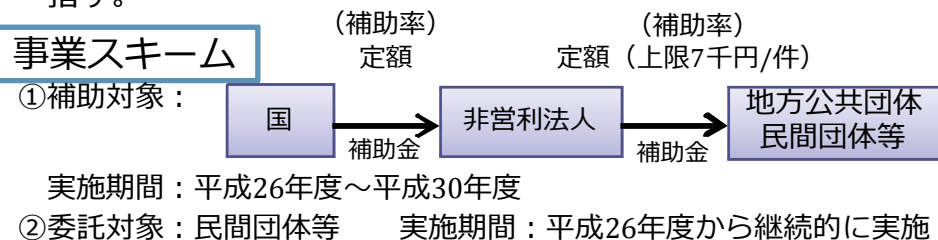
背景・目的

- 家庭からの温室効果ガス排出量は2013年度に1990年度比で5割以上も増加している。
- 各家庭での意識向上をCO2削減行動へつなげ、低炭素ライフスタイルへの転換を図るためには、ライフスタイルに応じた具体的・効果的なアドバイスが必要。
- 本事業では、家庭における着実な省エネを実行するための診断事業を行い、低炭素ライフスタイルへの転換を促進する。民間企業や地域主体のネットワークを活用し、診断受診世帯において現状から15%以上のCO2削減実現を目指す。

事業概要

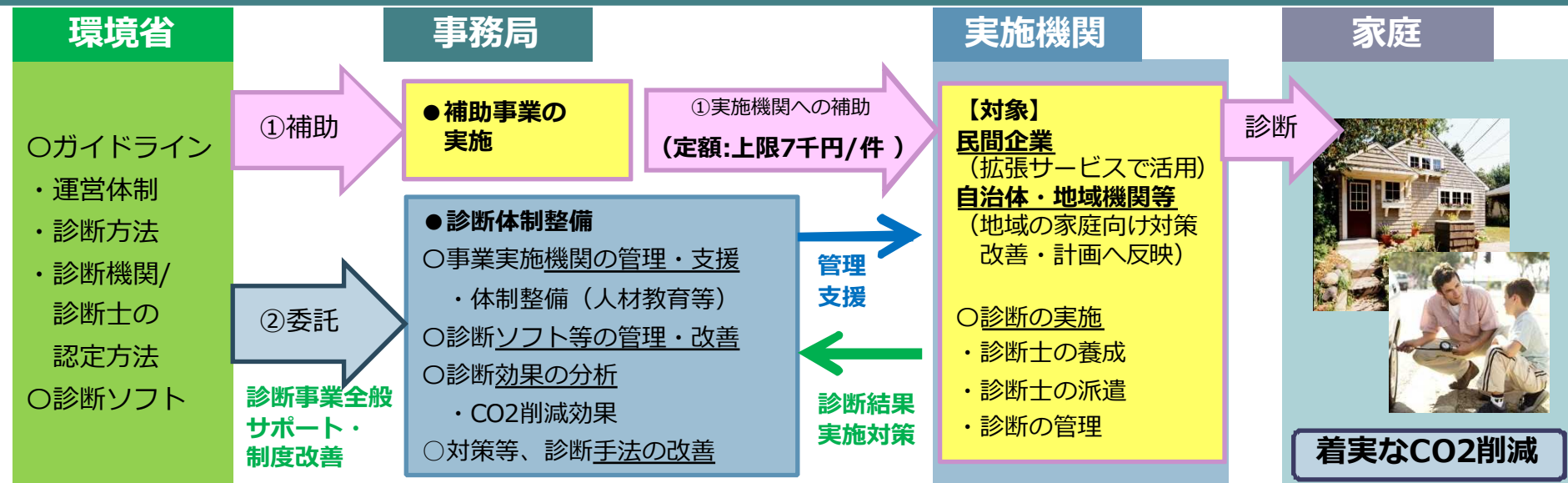
- ①各家庭に診断士を派遣し、家庭に応じた温室効果ガス排出削減行動を促すアドバイスを行う診断実施事業に対して補助を行う。
- ②診断を実施する上での体制整備として、環境省の示すガイドラインに従い、診断実施機関の管理・支援や診断ソフトの管理・改善等を行う。

事業スキーム



期待される効果

補助事業終了後も家庭エコ診断が継続的に実施され、2020年度までに累計32万世帯の診断を行う。



※診断ソフト・診断方法等のガイドラインは、平成25年度までに基盤整備
 ※個別の診断士については、別途資格試験において認定